

第39回全国ホープス南日本ブロック大会

令和7年度 第30回全九州卓球選手権大会（小学生の部）実施要項

（感染症対策及び自然災害対策として、要項が変更になることがありますのでご承知おきください）

1. 名称 第39回全国ホープス南日本ブロック大会
第30回全九州卓球選手権大会（小学生の部）
2. 期日 令和7年6月27日（金）～29日（日）
3. 会場 杵築市文化体育館（大分県杵築市大字本庄2005番地 TEL 0978-63-5558）
4. 主催 公益財団法人日本卓球協会 九州卓球連盟
5. 主管 大分県卓球連盟
6. 後援 大分県教育委員会（予定） 公益財団法人大分県スポーツ協会（予定）
杵築市教育委員会（予定） 公益財団法人杵築市スポーツ協会（予定） 大分合同新聞社（予定）
7. 協賛 株式会社VICTAS 日本卓球株式会社 株式会社タマス
8. 競技種目 (1) 団体戦
①男子団体戦 ②女子団体戦
(2) 個人戦
①ホープス男子単（小学6年生以下） ②ホープス女子単（小学6年生以下）
③カブ男子単（小学4年生以下） ④カブ女子単（小学4年生以下）
⑤バンビ男子単（小学2年生以下） ⑥バンビ女子単（小学2年生以下）
9. 競技日程 6月27日（金） 13:00～17:00 受付・練習
6月28日（土） 8:10～ 8:40 受付・練習
8:20～ 監督会議（杵築市文化体育館ミーティングルーム）
9:00～ 開会式（杵築市文化体育館）
9:30～ 競技開始（団体戦決勝まで）
6月29日（日） 8:10～ 8:40 受付・練習
9:00～ 競技開始（個人戦決勝まで）
(競技終了後) 閉会式
10. 競技方法 (1) 団体戦
①チームはクラブ単位とし、監督1名、アドバイザー1名、選手3～5名を登録することができる。
監督は複数チームの監督を兼任できない。
②4シングルス1ダブルス（3番にダブルス）の3点先取で勝敗を決める。
③予選リーグは、シングルス、ダブルスともに3ゲームズマッチ、決勝トーナメントからはシングルス、ダブルスともに5ゲームズマッチとする。（選手・チーム・開催地の負担軽減を考慮）
④競技は、ABCかXYZをトスで決め3名か4名で次のオーダー順序によって競技を行う。

3名の場合	1	2	3	4	5	4名の場合	1	2	3	4	5
ABC	A	B	BC	A	C	ABCD	A	B	CD	A	C
XYZ	X	Y	XZ	Y	Z	WXYZ	X	Y	WZ	Y	Z

- ⑤3チームまたは4チームによる予選リーグの後、1位チームによる決勝トーナメントを行う。
- ⑥予選リーグ・決勝トーナメントともに卓球台を2台使用することがある。
- (2) 個人戦 … 各種目、原則としてトーナメント方式とする。
- (3) 審判について
①団体戦は「相互審判」とする。
②個人戦は、第1試合は「指名審判」とし、その後は「敗者審判」とする。
③団体戦、個人戦とも準決勝から主管県において審判員を配置します。
ただし、バンビの部は1回戦から主管県において審判員を配置します。

11. 競技規則 (1) 現行の日本卓球ルールを適用する。ただし「タイムアウト制」は準決勝から適用する。
 (2) 各種目とも1ゲーム11点、5ゲームズマッチの3ゲーム先取にて勝敗を決める。
※団体戦の予選リーグのみ、シングルス、ダブルスともに3ゲームズマッチとする。
 (3) 卓球台は、バンビの部のみ66cmの高さの台を使用する。
 (4) 使用球は、JTТА公認球40mmホワイト(プラスチック)とし、全農杯2025年全日本選手権(ホープス・カブ・バンビ)で使用するメーカーと同じとする。
 (5) 粒高ラバー・アンチ系ラバーの使用制限はない。
 (6) ゼッケンは令和7年度(公財)日本卓球協会指定のものを使用すること。
 (7) 同じユニフォームによる対戦を避けるため、2種類以上のユニフォームを持参すること。
 (8) ラバーの張り替えは、指定の場所で行うこと。
 (9) 試合後のラケット検査で有機溶剤が検出された場合は失格とする。
12. 参加資格 (1) 選手・監督・コーチは令和7年度(公財)日本卓球協会に同じクラブで登録した者であること。
 (2) 登録の単位はクラブとし、同一クラブから複数のチームが出場できる。なお、他のクラブとの混成チームは認めないこととする。
 (3) 監督(引率者)は、協会に登録されているチームの代表者か責任の持てる人であること。
 (4) 監督・コーチは、令和7年度(公財)日本卓球協会指定の役職者章をつけること。
 (5) 団体戦・個人戦とも登録県のみ出場とする。(隣接県は認めない)
 (6) 本大会は、該当年齢より上の種目にも予選会に出場して代表権を得た場合参加できる。ただし、バンビ、カブ、ホープスのうちの1種目にのみ出場できる。
 (7) 団体戦において、予選会で敗れたチームのメンバーになっていた選手が、同一チームが代表になったからといって、その選手を代表チームのメンバーへ変更することはできない。
 (8) ホープスは平成25年4月2日以降に生まれたものであること。
 (9) カブは平成27年4月2日以降に生まれたものであること。
 (10) バンビは平成29年4月2日以降に生まれたものであること。
13. 参加数 (1) 団体戦 各県男女各4チームとする。
 (2) 個人戦 ①ホープス各県男女8名、カブ各県男女8名、バンビ各県男女4名とする。
 ②前年度ランキング者は推薦出場とし、制限外とする。
 ③開催県は各種目ともに倍数とする。
14. 参加料 (1) 団体 1チーム 5,000円 個人 1人 2,000円
15. 申込締切 **令和7年5月9日(金) 必着のこと**
(予選会の都合により申込が遅れる場合は、必ず事前にご連絡ください。)
16. 申込方法 (1) 所定の申込用紙により必要事項を記入して各県一括してお申し込みください。
 (2) (1)と同時に『エクセルデータ』で
 大分県卓球連盟 oitakentakuhopes@gmail.com までメールで送信して下さい。
 ※名簿作成や組み合わせに必要です。
 (3) 参加料は各県一括して振込により納入してください。(個人またはチームでの送金はできません)
17. 申込先 〒873-0015 大分県杵築市大字八坂1972番地4
 大分県卓球連盟ホープス委員長事務局 亀井宛 TEL 090-7297-3208(携帯)
18. 振込先 豊和銀行 下郡支店 普通預金 口座番号 274650
 口座名義 大分県卓球連盟 会長 中村 和好 (オイタクンタクキュウノメイカイヨウカムラカズミ)
19. 宿泊弁当 (1) 宿泊・弁当については各チームで手配して下さい。(近くにはお店はありません)
20. その他 (1) 無断棄権を固く禁じます。やむを得ない事情で棄権をする場合は、各県協会(連盟)を通じて上記申込先へご連絡ください。なお、棄権者への参加料は返還しません。
 (2) 団体戦の選手・監督の変更は、所定の様式により監督会議までに届け出てください。
 (3) 禁止事項について
 選手等が収録する画像又は音声については、以下の制限を行います。
 (1) 選手等が収録できる画像又は音声は、自己の競技の画像又は音声に限定する。
 (2) 収録機材は1台とし、機材場所は自己の競技が行われるコート脇ベンチに限定する。
 (3) 収録した画像又は音声を、インターネット上で公開することは禁止します。

※そのほか注意事項

団体戦における「ベンチコーチ」は来年の2026年度のこの大会から「JSP0 公認指導者資格<スタートコーチ以上」「日本卓球協会公認審判員資格」「日本卓球協会登録者」の3つの資格が必要になります。

また、「2028年度全国ホープス大会」においても同様の資格が必要です。資格を満たしていないと団体戦のベンチに入れませんのでご注意ください。

2025年度には各県で資格取得を推進すべく、スタートコーチ資格取得講習会、熊本県と福岡県では「コーチ1」の資格取得講習会が予定されています。